

ものづくり・匠の技の祭典2018 基本計画書

1 開催趣旨

日本文化を支える匠の技と中小企業の優れたものづくりの技術を、東京のみならず日本各地と連携して、海外の方も含めた幅広い世代に分かりやすく紹介する。
テーマ：伝統と革新（革新の積み重ねが伝統を生み出し、伝統の技と革新的な技術が交差する）

2 会期・会場

- ・平成30年8月8日（水）～10日（金）（6・7日：設営・準備期間）
午前10時～午後6時
- ※イベント開催時間については、東京国際フォーラムの工事の状況等を踏まえ、最終決定する。
- ・東京国際フォーラム 地下2階ホールE、地下1階ロビーギャラリー

3 基本コンセプト

- 展示だけでなく、体験や実演等を通じて、匠の技やものづくりの技術の素晴らしさを来場者が五感で感じることができるイベントとする。
- 日本各地（道府県等）と連携して、東京のみならず全国の優れた匠の技やものづくりの技術が一堂に会するイベントとする。
- 国内のみならず、訪日観光客をはじめとする海外からの来場者にも匠の技やものづくり技術の素晴らしさを発信できるイベントとする。
- 「Old meets New 東京150年」関連事業として、江戸・東京の文化や伝統等を感じられる出展内容を展開することにより、「Old meets New 東京150年」の目的に資する取組を行う。

6 イベントイメージ

【会場イメージ】

- 原則としてメイン会場となる地下2階にステージや職種ごとのブース等を設け、地下1階は日本全国からの出展会場として自治体単位（道府県、市町村）のブース等を設ける。
- メイン会場は「衣」「食」「住」「工」の分野ごとにゾーニングしたうえで、職種ごとのブースのほか賑わいを創出する「ステージ」「上棟式」「茶室」を分散配置する。
- 行き止まりのない動線を確保するため、回遊性を高めるとともに、パーテーションを低くして会場の一体感を創出する。
- 東北被災3県や熊本県・大分県の復興支援ブースを加える。

【コンテンツイメージ】

- 匠の技やものづくりの技術の実演や茶室の展示等については、用いられている技能が来場者に伝わるように工夫するとともに、茶室については茶道・華道を披露する場としても活用する。
- 職種ごとのブースは展示だけでなく、実演・体験が伴うものを優先するとともに、体験を円滑に行うため事前ネット予約を実施する。
- ステージでの実演に加え、ブースでの展示・実演についても、映像をステージで放映するなど見せ方を工夫し、YouTube等によりインターネット配信する。
- 海外からの来場者に対応するため、事前告知のホームページやチラシ・ポスター等に加え、イベント時の会場内サインやガイドブック等は英語版・中国語版も作成し、通訳も配置する。
- 会場入口付近で、出展ブースの位置や催物等を来場者が把握しやすくなる工夫をする。
- イベントを活用して、出展者とデザイナー・バイヤー等との交流の機会を設ける。

4 出展団体

【メイン会場（地下2階ホールE）】

東京都等の技能士会連合会、職業能力開発協会に参画している職種を中心とする。

【地方出展会場（地下1階ロビーギャラリー）】

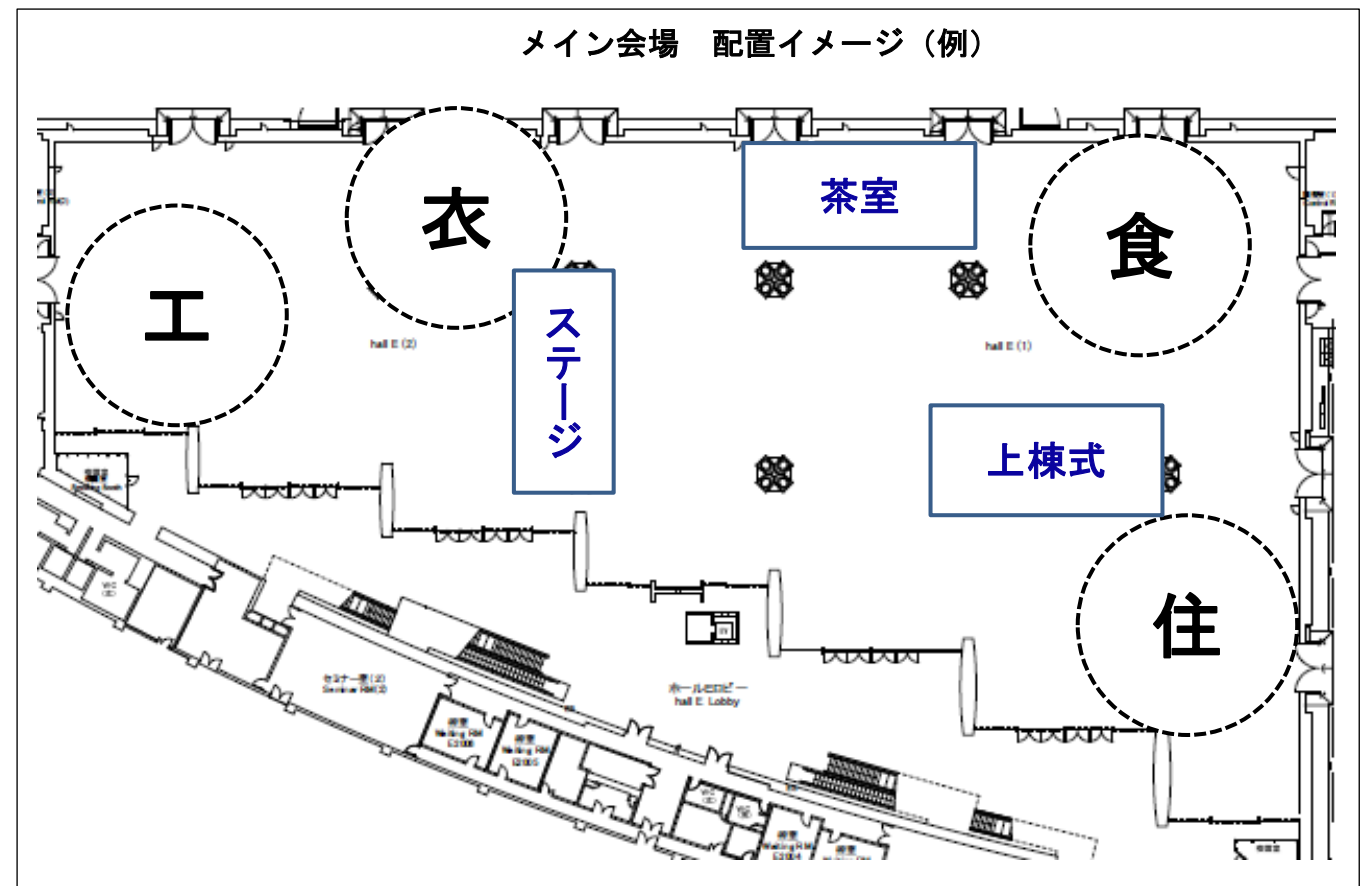
道府県、政令指定都市、オリンピック首長連合（三条市等）を通じて出展団体を募集、開催趣旨への合致（実演・体験の有無）、経費等を勘案して選定する。

※ブース・ステージの出展条件は別紙のとおり。

5 広報スケジュール（予定）

- 各種広報を早めに展開していく。
- 芸能人等のアンバサダー等は起用しない。（平成28年度：東貴博、ウルトラマン）
- （例）5月：プレス発表、ホームページ設置
- 6月：チラシ・ポスター制作・配布、関係団体・学校関係告知
- 7月：訪日観光客（The Japan Times、観光案内所、GO TOKYO 等）
交通広告（駅貼り、窓上広告、車内ビジョン広告 等）
行政広報（広報東京都、東京都提供テレビ・ラジオ、出展自治体広報 等）
- 8月：取材案内

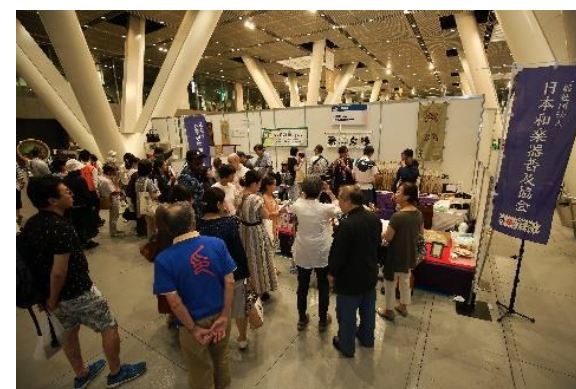
メイン会場 配置イメージ（例）



1 個別技能ブース（メイン会場（地下2階ホールE））

- 個別技能ブースは、1ブースあたり32㎡程度、計35ブース程度とする。
（参考）平成28年度：27㎡/1ブース、44ブース設置
平成29年度：32㎡/1ブース、36ブース設置 ※一部16㎡のブースあり
- ブース内の構成（展示、体験、実演、販売）は出展団体が企画し、都・受託者・出展団体と調整し決定する。
- 体験の主な対象は数年後に就業が期待できる中高生以上として、原材料費は来場者から徴収することを原則とする。（小学生も参加可）

ブース



個別技能ブース（和楽器：16㎡）



個別技能ブース（紳士服：32㎡）

2 全国ブース（地方出展会場（地下1階ロビーギャラリー））

- 全国ブースは、1ブースあたり10㎡程度、計20ブース程度とする。
（参考）平成28年度：5㎡/1ブース、40ブース設置
平成29年度：10㎡/1ブース、22ブース設置
- 体験は地下1階で共用スペースを設けて実施することとして、基本的な考え方は地下2階と同様とする（来場者負担、中高生以上）。



全国ブース（大分県：10㎡）



全国ブース（体験スペース）

3 ステージ

- 1プログラムは原則として、45分程度として合間に30分間程度の休憩を設け、1日のプログラム数を7プログラム程度（オープニングセレモニー含む）と余裕のある時間設定とする。
（参考）平成28年度：初日8プログラム、2日目7プログラム、3日目8プログラム
平成29年度：初日8プログラム、2日目8プログラム、3日目5プログラム
- オープニングセレモニーは、主催者挨拶、来賓挨拶のほか、イベントにふさわしい匠の技をPRする内容も加える。**

ステージイベント



人生の節目を匠の技が彩る着物ショー



ステージバック張替実演

平成29年度記録写真（オープニングセレモニー）



主催者挨拶



桶開き



四條流司家庖丁儀式

交流会



プレゼンテーション